

# 東京農業大学稲花小学校

学校だより【2023年2月13日】第155号



## 入学準備

2月4日(土)、第2回入学者説明会が行われ、4月に入学する子どもたちの保護者にお集まりいただきました。校長からは、農大稲花小の保護者としての心構えについて、また、教頭からは学校生活の諸注意をお話しました。小学校受験は一つの節目ですが、ゴールではありません。各ご家庭の教育力は小学校入学後にこそ求められます。子どもたちが自らを律して正しく行動し、また、学びに向かう姿勢を身に付けるまで、ご家庭での指導を続けていただきたいと思います。

なお当日、希望者についてはアフタースクール体験会が行われ、子どもたちは、仲良くアクティビティに参加していました。放課後の子どもたちに楽しい居場所を提供し、同級生あるいは異学年との交流の機会ともなるアフタースクールの活用もお勧めしています。

そして何よりもまず、どの子どもたちにも、入学を楽しみにしてほしいと願っています。農大稲花小の入学式は、4月6日(木)です。4月7日(金)の始業式には、1年生から5年生までの子どもたちがそろいます。

## オオムラサキとカブトムシ

毎月、2箱の標本箱を、一般財団法人進化生物学研究所よりご提供いただき展示をしています。標本は毎月、異なるテーマで選ばれており、子どもたちは世界各地の多様な昆虫を見てきました。そして2月の展示標本は、日本の昆虫をテーマに、日本の国蝶オオムラサキと、子どもたちにいつも人気のカブトムシです。カブトムシは本州だけでなく、奄美大島、喜界島、沖縄本島等の採集品も含めて展示されています。

## 炊飯してみよう

1年生は稲花タイムで、炊飯をしました。お手伝いをよくする子どもの多い本校ですが、友だちと一緒にお米を研いで炊飯器をセットするのは、新しい体験です。もちろん授業ですから、真剣に説明を聞き、丁寧に洗米し、水の量も測りました。実習で炊飯したご飯は、給食の時間に皆で頂きました。よほどおいしかったのか、炊飯器を空っぽにした組もあり、驚かされました。

簡単なお手伝いでもよいのです。一つのことができるようになると、次のことに取り組む気持ちが出てきます。お手伝いを通して誰かの役にたつことができるという体験も、子どもたちをさらに大きく育てることでしょう。

## 留学生と話そう

2月6日(月)は7名の留学生の皆さんが4年生のために、7日(火)は2名の留学生のみなさんが3年生のために、そして9日(木)には4名の留学生の皆さんが2年生のために、東京農業大学

から農大稲花小に来てくれました。

4年生には、ザンビア、インド、ベトナム、フィリピン、ミャンマー、タンザニア、ベトナムからの留学生が自己紹介をした後、6人ずつのグループに分かれた子どもたちと一緒に英語での会話を楽しみました。最後には子どもたちと一緒に折り紙を折って楽しみました。子どもたちは留学生と楽しそうに過ごしており、英語についても教員が助けに入るような場面はまったくないのには、驚きました。

3年生には、ブラジルとフィリピンからの留学生が、それぞれの国の旗、首都、遊び、自然、食べ物などについてパワーポイントを使って英語で説明してくれました。その後、一人が一つ、留学生に英語で質問し、留学生からも英語で質問がありました。兄弟の数、好きな日本の食べ物、好きな動物…子どもたちは自分たちの知っている英語を使って、臆することなく質問をしていました。中には、好きなトカゲは？好きな星は？好きなサメは？などと、留学生がびっくりするような深い質問もあり、楽しいひと時でした。

2年生には、ベトナム、ミャンマー、メキシコからの留学生が、それぞれの国の紹介を英語でパワーポイントを使って説明してくれました。ベトナムの子どもたちの楽しそうな遊びのビデオには歓声があがり、ミャンマーの文字で自分の名前を書いてほしい子どもが列を作り、また、メキシコのダンスを全員で踊ったりもしました。先生に助けをもらいながら、ひとりずつ英語で質問をし、最後には学習発表会で評判だった谷川俊太郎先生の詩「生きる」の英訳「To Live」の暗唱も披露しました。

この授業では、毎日勉強している英語を使う楽しさを知るだけでなく、世界にはいろいろな人や暮らしがあることを知る機会ともなったことでしょう。自分のこと、自分の周りのことだけでなく、広く世界に目を向けられる子どもになってほしいと願っています。

各国から東京農業大学に留学してきている学生、大学院生、そして研究者の皆さんにも、留学生活が楽しく、実り多いものになることを願っています。特に、授業でお世話になった留学生の皆さんには、素晴らしいプレゼンテーションをしていただき、また、子どもたちに良い体験をさせてくださったことに感謝しています。

## 雪が降りました

2月10日(金)、朝から降り出した雪が思いのほか激しくなり、都内では大雪警報が発令されました。前夜から保護者の皆様には、午後の臨時休校もあり得ることをお知らせしていましたが、授業は午前中まで、給食後に順次下校することを11時前後には決定して、改めてツイタもんアプリで連絡しました。

下校については、一人で下校、アフタースクールを利用、あるいは保護者のお迎えまで学校での留め置きとしました。多くの子どもたちは、大人の心配をよそに、雪を楽しむ様子で下校してきました。また、お迎えにいらした保護者の皆様には、下校の準備が整うまで、雪の中でお待ちいただくことになりましたが、ご協力ありがとうございました。

東京農業大学稲花小学校

校長 夏秋 啓子